

まちづくりニュース 第5号

品川駅南地区ではまちづくりを進めています！

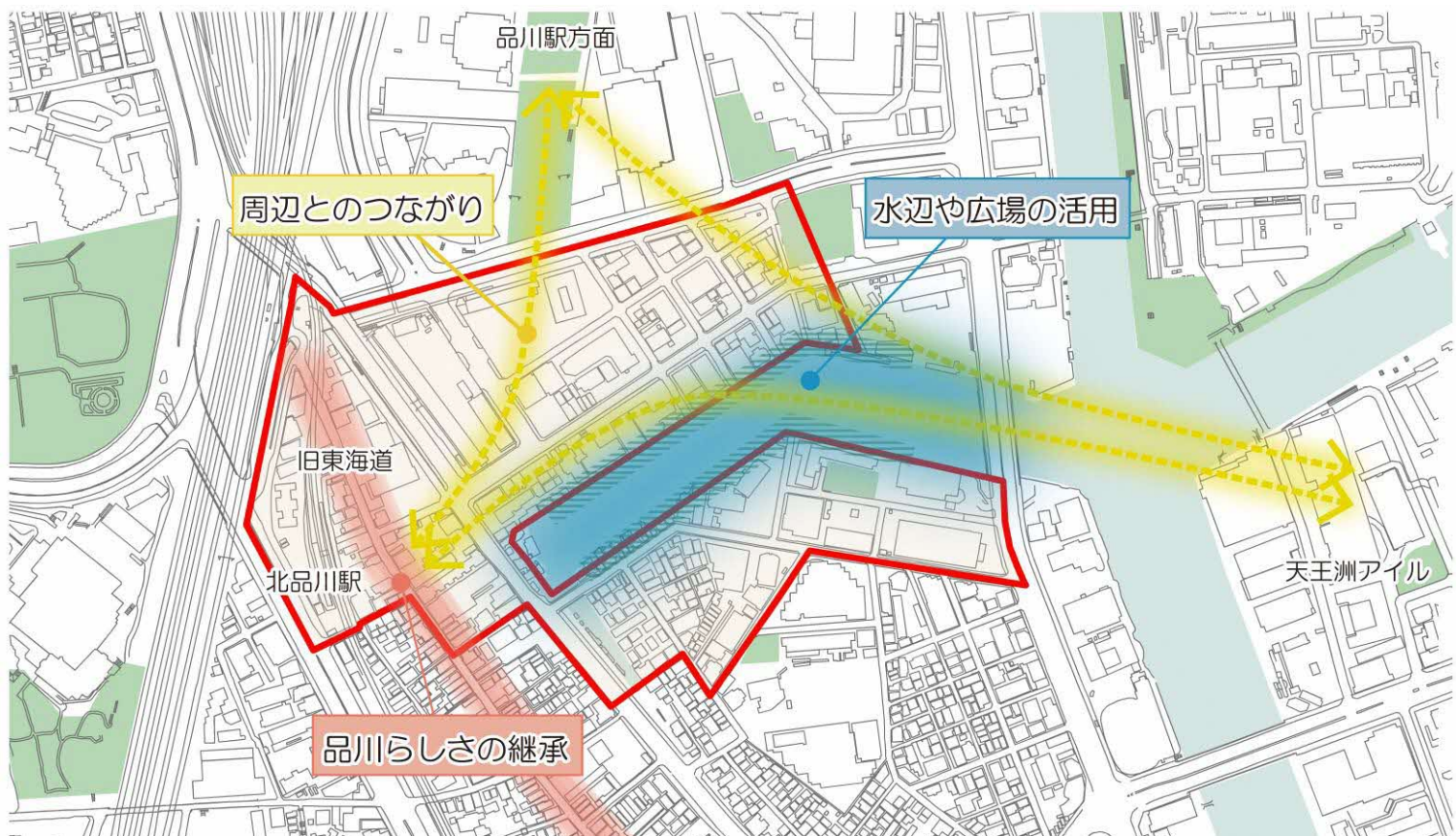
(1) 品川区のまちづくり計画における位置付け

品川駅南地区では、複合市街地の形成が進む隣接地域との連携・強化を目指すとともに、国内外の来街者を迎え入れる品川駅の南の玄関口となる拠点形成を目指したまちづくりを進めるため、「広域活性化拠点」として位置付けられています。

(2) 将来の品川駅南地区のまちづくりの検討を目的とした意見交換会を実施

品川駅南地区の地域まちづくりに関して、令和元年度から意見交換会を開催しています。今年度は、本地区の将来のまちのイメージや将来にわたって大事にしていきたいものなどについて意見交換を実施し、さまざまなアイデアを頂きました。

下図は皆さまから頂いた主なご意見を本地区の図面に落とし込んだもので、裏ページではより詳細にまとめています。このチラシでまとめたもの以外にも、様々なご意見を頂きました。皆さまからのご意見を参考にしながら、品川駅南地区のまちづくりを進めてまいります。



<発行>



品川区 都市環境部
都市開発課 立体化担当

〒140-8715 東京都品川区広町 2-1-36

(TEL) 03-5742-6961 (FAX) 03-5742-6942

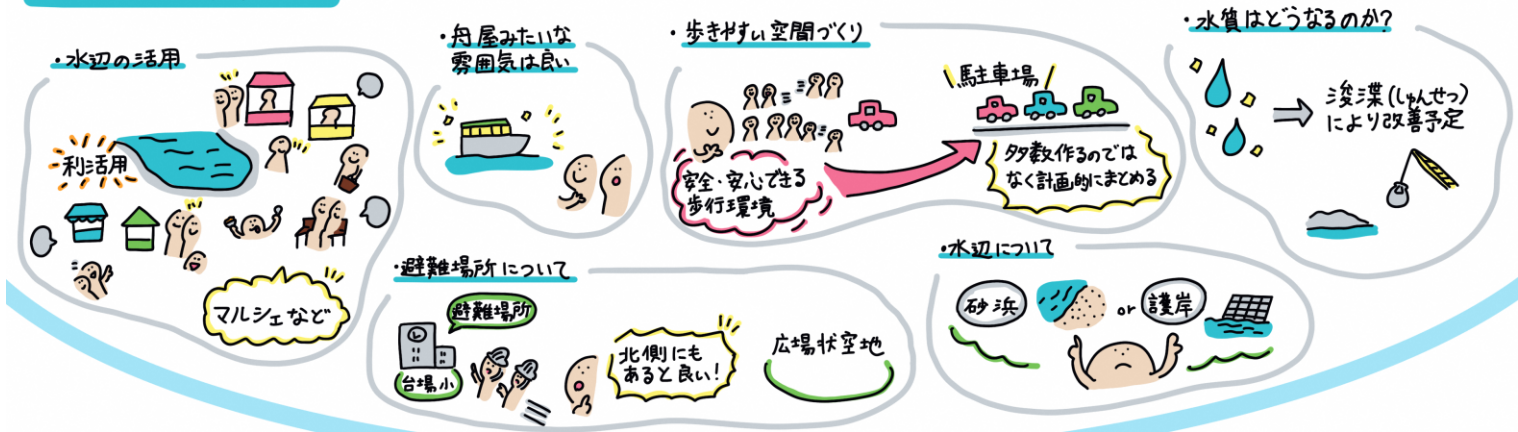
品川駅南地区のまちづくりや、過去に実施したアンケート結果の詳細はこちらからご覧頂けます
TOP>環境・まちづくり>都市整備>プロジェクト

<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>



令和5年度 みなさまからの主なご意見

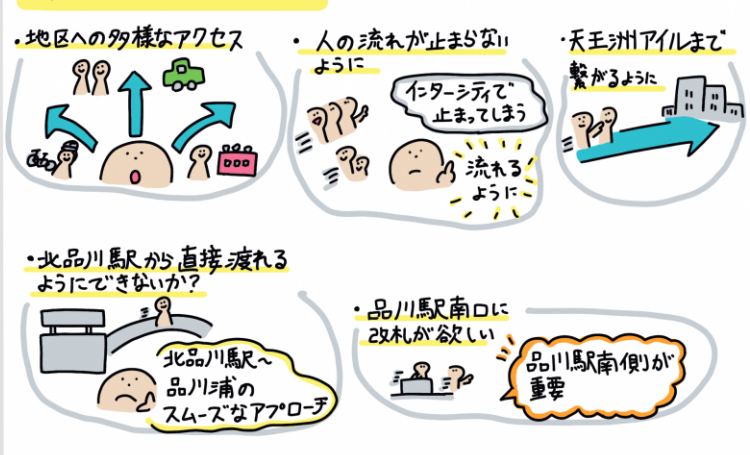
1. 水辺や広場の活用



2. 品川らしさの継承



3. 周辺とのつながり



※スケッチはみなさまのご意見をまとめたイメージになります

品川駅南側が重要	天王洲アイルまでつながるように	品川浦の南北を橋でつなぎたい	北品川駅から直接渡れると良い	舟屋みたいな雰囲気は良い	旧東海道品川宿の入口に「大門」として神輿と山車をショーウィンドに飾りたい
全体での情報共有が必要			天王洲とは違う品川らしさを残す(光も和風など)	品川浦が見えるのは良い	

1 水辺や広場の活用

- ・マルシェ等のイベントを行いたい
- ・災害時の避難場所として活用してほしい
- ・誰もが利用しやすい駐車場の設置や水辺や広場を管理する施設の設置が必要

2 品川らしさの継承

- ・旧東海道の風情を継承してほしい
- ・品川浦への景観配慮が大切



3 周辺とのつながり

- ・品川駅南側～北品川駅～天王洲アイルをつなげたい



※スケッチはみなさまのご意見をまとめたイメージになります